

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の本質・目的	社会福祉	亀井聡	1年次	秋

授業のキーワード	社会福祉の基本理念、福祉課題と福祉システム、福祉を守る仕組み
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	保育を含めた子ども福祉は社会福祉の一分野であり、日本の社会福祉を理解することは保育・子ども福祉の基礎的な部分を理解及び保育実習Ⅱ（施設実習）の事前学習の基礎にもなる。
履修のアドバイス・ 前提科目等	学生の理解度の応じて講義を進めるので、シラバス通りに進まないこともあります。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	人間の発達と社会福祉	今日の社会福祉の基本的考え方を理解する。	第9講	障害者の自立と社会福祉	現代社会の障害者問題 障害者の自立
第2講	平和・人権・福祉	社会福祉の理念と憲法との関係 人権 今後の社会福祉の考え方	第10講	社会福祉の法制度と行政の仕組み	社会福祉の法体系 社会福祉の行政の仕組み
第3講	暮らしの現実と社会福祉	日本の暮らしの現実と社会福祉の問題 ワーキング・プア等	第11講	社会福祉の機関と施設の役割	人々の生存権を守る仕組みと取り組み 社会福祉施設の役割
第4講	社会福祉の基本理念（1）	ノーマライゼーション	第12講	社会福祉の仕事と働く人たちの専門性	社会福祉の分野で働く人たちの特徴と実態 社会福祉の仕事と専門性
第5講	社会福祉の基本理念（2）	全人間的復権としてのリハビリテーション	第13講	社会福祉援助技術の意義と方法	社会福祉援助技術の方法
第6講	暮らしの危機と所得保障	今日の日本の所得保障の現状の理解	第14講	人々の権利を守る仕組み	社会福祉における権利擁護の必要性
第7講	子ども福祉・家族福祉の現状と課題	子どもの人生を支える福祉	第15講	社会福祉の確立の歩み	社会福祉の裁判の展開
第8講	高齢期の生活問題と社会福祉	高齢者の生活と介護	評価方法		定期試験が70%、出席状況・レポート提出・授業態度等が各10%で評価します。
備考 (関連する資格・試験等)		教科書は講義開始時に支持します。 講義は15回を実施することを前提に考えています。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		

--	--